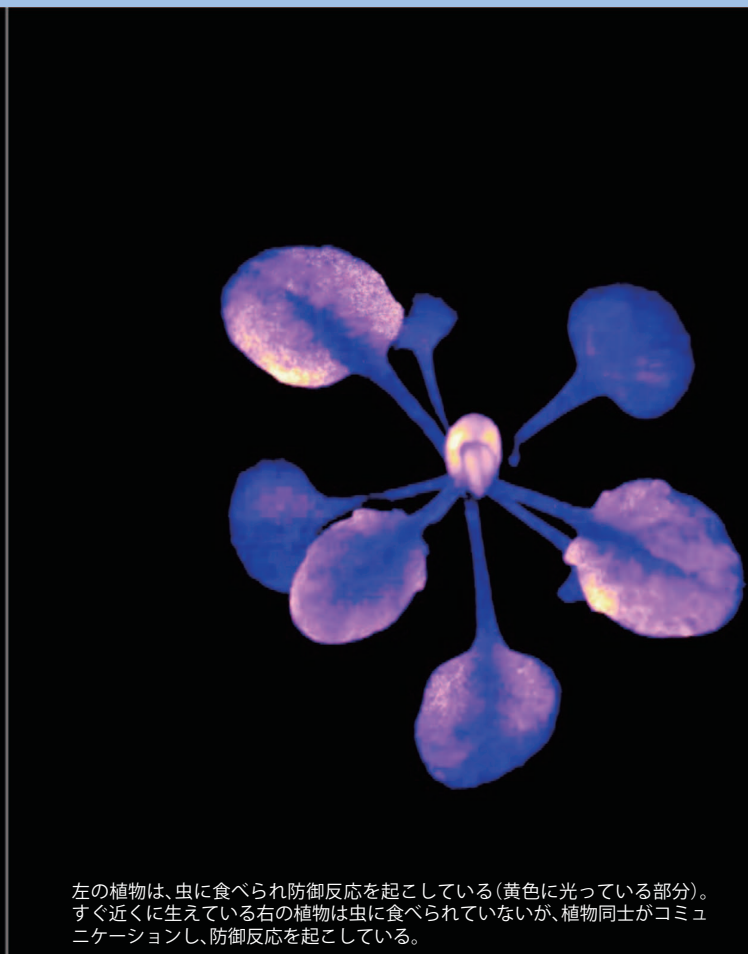
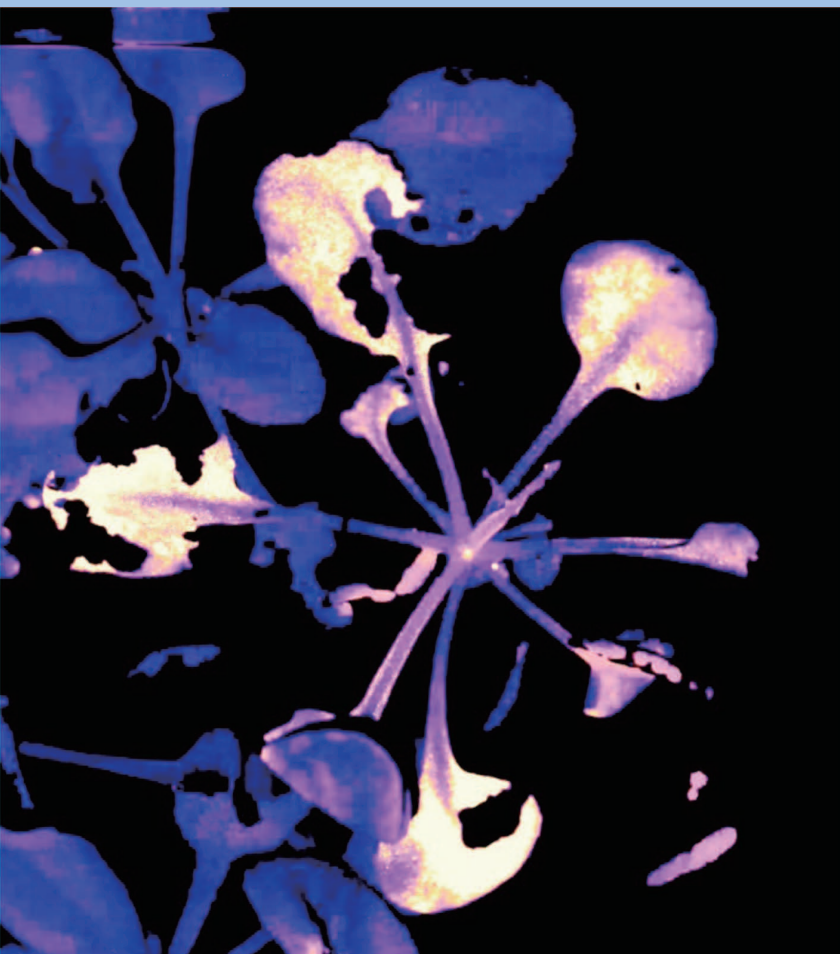


第64回 科学技術映像祭

64th SCIENCE AND TECHNOLOGY FILM/VIDEO FESTIVAL



左の植物は、虫に食べられ防御反応を起こしている(黄色に光っている部分)。すぐ近くに生えている右の植物は虫に食べられていないが、植物同士がコミュニケーションし、防御反応を起こしている。

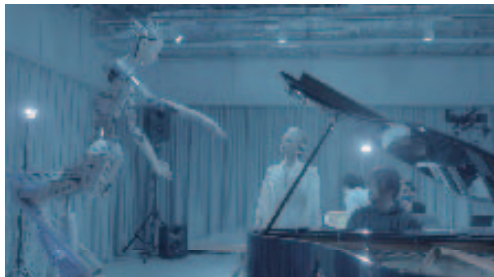
内閣総理大臣賞 自然・暮らし部門 NHKスペシャル **超・進化論** 第1集 植物からのメッセージ ～地球を彩る驚異の世界～

文部科学大臣賞 自然・暮らし部門



目撃者f 消えないアラーム～医療的ケア児 命つないだ先に～

文部科学大臣賞 研究・技術開発部門



ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モDESTA (バイオニック・ポップ・アーティスト)

文部科学大臣賞 教育・教養部門



雅なクモ ジョロウグモの一生

主催／(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟

(公財)つくば科学万博記念財団、(一財)新技術振興渡辺記念会

後援／文部科学省、**NHK**、(一社)日本民間放送連盟、(一社)日本新聞協会

(一財)日本視聴覚教育協会、(一財)経済広報センター

国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学館連携協議会

(公財)民間放送教育協会

■表彰式

科学技術館 サイエンスホール TEL: 03-3212-8487

4/21

■入選作品発表会

上映作品、プログラム等の詳細は各施設にお問い合わせのうえ、
ご来場ください。都合により、中止または延期になる場合もあります。

●科学技術館 TEL: 03-3212-8487

4/20～21、2023.5～2024.3

●つくばエキスポセンター TEL: 029-858-1100

4/18～23、2023.4～2024.3

●帯広市児童会館 TEL: 0155-24-2434

7/29

●旭川市科学館 サイバル TEL: 0166-31-3186

2023.4～2024.3

●はこだてみらい館 TEL: 0138-26-6000

2023.4～2024.3

●スリーエム仙台市科学館 TEL: 022-276-2201

4/15～5/13

●コミュタン福島 TEL: 0247-61-5721

調整中

●郡山市ふれあい科学館 TEL: 024-936-0201

2023.4～2024.3

●那須塩原市那須野が原博物館 TEL: 0287-36-0949

2023.4～9

●大洗わくわく科学館 TEL: 029-267-8989

4/19～23

●所沢航空発祥記念館 TEL: 04-2996-2225

9/2、3、9、10、16～18、23、24

●新潟県立自然科学館 TEL: 025-283-3331

8/11～20

●富山市科学博物館 TEL: 076-491-2125

7/8～8/27

●蒲郡市生命の海科学館 TEL: 0533-66-1717

12/1、2

●ひだ宇宙科学館 カミオカラボ TEL: 0578-86-9222

2023.12～2024.2

●大阪科学技術館 TEL: 06-6443-5318

4/17～23

●5-Daysこども文化科学館(広島市こども文化科学館) TEL: 082-222-5346

5/5、7

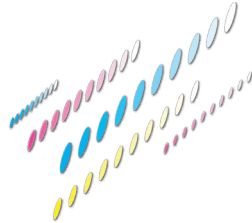
●宮崎科学技術館 TEL: 0985-23-2700

7/22～8/27

●鹿児島市立科学館 TEL: 099-250-8511

調整中

**64th
SCIENCE AND TECHNOLOGY
FILM/VIDEO FESTIVAL**



第64回 科学技術映像祭

科学技術映像祭は、優れた科学技術映像を選奨することで科学技術への関心を喚起するとともに、その普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として1960(昭和35)年より開催し、今回、第64回を迎えました。

優れた科学技術映像の選定にあたっては、まず運営委員会(委員長：永野博(公社)日本工学アカデミー顧問、他委員6名)を組織し、運営委員会の示す基本方針の下、2022年1月1日から2023年1月25日までに完成または放映された作品を公募し、「自然・くらし部門」「研究・技術開発部門」「教育・教養部門」の3部門に対し、44機関から94作品が出品されました。出品された作品について、小出重幸審査委員長(日本科学技術ジャーナリスト会議理事)をはじめとして13名の審査委員により審査試写ならびに討論を実施し、入選作品を選出、運営委員会において決定しました。

決定した作品には、内閣総理大臣賞(1作品)、文部科学大臣賞(3作品)、部門優秀賞(6作品)、特別奨励賞(1作品)、新技術振興渡辺記念会理事長賞(1作品)、つくば科学万博記念財団理事長賞(1作品)、科学技術館館長賞(1作品)が製作者ならびに企画者に贈呈されます。

第64回 科学技術映像祭入選作品

内閣総理大臣賞

- 自然・暮らし部門 NHKスペシャル **超・進化論** 第1集 植物からのメッセージ ～地球を彩る驚異の世界～……………4
企画・製作：日本放送協会

文部科学大臣賞

- 自然・暮らし部門 **目撃者 f 消えないアラーム** ～医療的ケア児 命つないだ先に～……………5
企画・製作：株式会社福岡放送
- 研究・技術開発部門 **ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モDESTA(バイオニック・ポップ・アーティスト)** ……………6
製作：ウッドオフィス株式会社 企画・委託：株式会社WOWOW
- 教育・教養部門 **雅なクモ ジョロウグモの一生**……………7
企画・製作：難波由城雄写真事務所

部門優秀賞

- 自然・暮らし部門 **コケの一生 命きらめく足もとの森**……………8
製作：株式会社ドキュメンタリーチャンネル／企画：ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- 研究・技術開発部門 **がん免疫を知る 「7 STEP」・その先へ**……………9
製作：株式会社タイムラプスビジョン／企画・委託：中外製薬株式会社、株式会社インサイト・アイ
- 教育・教養部門 **これからの世界を生き抜くために科学的に物事を考えるということ**……………10
企画・製作：株式会社GENKI LABO
- 教育・教養部門 **日本のチカラ 笑って生きる一生 ～ALS患者がつくる夢のグループホーム～**……………11
製作：静岡放送株式会社／企画・委託：公益財団法人 民間放送教育協会
- 教育・教養部門 **SBCスペシャル 宇宙を夢見た高校生たち ～スペースバルーン・プロジェクトの1年～**……………12
企画・製作：信越放送株式会社
- 教育・教養部門 **コズミック フロント 流星群 星降る夜の謎**……………13
製作：NHKエデュケーショナル／企画・委託：日本放送協会

特別奨励賞

- 教育・教養部門 **matsumooのYouTube小学校 理科 小6理科 植物の成長と水の関わり 1 水の通り道**……………14
企画・製作：matsumooのYouTube小学校

つくば科学万博記念財団理事長賞

- 教育・教養部門 **これからの世界を生き抜くために科学的に物事を考えるということ**……………10
企画・製作：株式会社GENKI LABO

新技術振興渡辺記念会理事長賞

- 研究・技術開発部門 **ガリレオX サイボーグ昆虫** 生物と機械を融合させる驚異の技術……………15
企画・製作：ワック株式会社

科学技術館館長賞

- 教育・教養部門 **所さんの目がテン！ 登山鉄道の科学**……………16
企画・製作：日本テレビ放送網株式会社

第64回科学技術映像祭は、インターネット等で配信されている動画の出品が50本と前回の32本から大幅に増え、それに引きずられる格好で出品本数が全体で94本(前年78本)と近來まれに見る多さとなった。出品機関数は44で、前年の50機関より少なかった。

部門別の出品点数は自然・くらし部門が14本、研究・技術開発部門が16本でほぼ従来通り、大幅に増えたのは教育・教養部門で64本だった。ただし、なぜこの部門なのかと首を傾げざるをえない作品が複数あり、そこをどう評価するか、審査委員には難しい判断が迫られた。

一次審査を通過したのは、自然・くらし部門5本、研究・技術開発部門7本、教育・教養部門14本だった。これを13人の審査員が観て採点し、点数の集計結果を見ながら討論と投票を重ねて受賞作品を決めた。

内閣総理大臣賞の「NHKスペシャル 超・進化論 第1集 植物からのメッセージ〜地球を彩る驚異の世界〜」は、新たにわかってきた植物の驚くべき能力を実験映像とCG、そしてスタジオドラマでわかりやすく示した。植物に興味のない人も引き込もうとする工夫が凝らされ、科学の最新成果を知る喜びに誰もが浸れる見事な作品だった。ただし、「擬人化」という手法はときにニセ科学に通じる思い込みを植え付けることになりかねないため、そうならないような説明を加えると良かったという指摘もあった。

文部科学大臣賞に選ばれた自然・くらし部門の「目撃者 f 消えないアラーム〜医療的ケア児 命つないだ先に〜」は、24時間医療的ケアが必要な子どもとその家族、そしてサポートする訪問看護師たちを福岡放送が丹念に取材し、社会的な支援が行き届かない現状を伝えた力作。医療の進歩のおかげで助かった命を大切に育む両親の姿は感動的で、その日常を広く知ってもらうことは行政や仕組みを動かす第一歩になるだろう。全国で見てもらいたい作品だ。

研究・技術開発部門の「ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モDESTA(バイオニック・ポップ・アーティスト)」は、義足をチャームポイントにしてモデルやシンガー、クリエイティブディレクターなどとして世界的な活躍を続ける女性の半生を描いたドキュメンタリー。美しい映像、見事な構成に思わず見入り、既成概念を覆し続ける生き方に感銘を受けた。研究・技術開発の要素は乏しかったが、テクノロジーとアートが互いに融合・越境する未来の可能性を予感させてくれた。

教育・教養部門では、写真家の難波由城雄氏が個人で製作した「雅なクモ ジョロウグモの一生」が選ばれた。生活環をしっかりと映像記録に残していること、わかりにくい部分を体が透明なササグモで補完する工夫を施したことなどが高く評価された。

部門優秀賞に選ばれたのは6作品。「コケの一生 命きらめく足もとの森」は、ほとんどの人が関心を寄せないコケの姿を、マクロ撮影、顕微鏡撮影、タイムラプス撮影等を

駆使し、美しい映像で見せた。ただ、コケの紹介にとどまっていたことには物足りなさも感じた。

「がん免疫を知る 『7 STEP』・その先へ」は、中外製薬と名古屋大学の共同研究プロジェクトの成果の一つとして制作された11分の映像。専門家向けにがん免疫の最先端を紹介した。

「これからの世界を生き抜くために科学的に物事を考えるということ」はサイエンスアーティストでありユーチューバーとして活躍中の市岡元気氏がマイケル・ファラデーの『ロウソクの科学』の実験を再現した講演を30分にまとめた動画。科学教育映像として高いレベルに達しており、つくば科学万博記念財団理事長賞とのダブル受賞となった。

「日本のチカラ 笑って生きる一生〜ALS患者がつくる夢のグループホーム〜」は、難病・ALSを発症してから自ら理想のグループホームをつくった静岡県富士宮市の清しお子さんに密着取材した静岡放送の作品。次第に病状が進行するALSにかかりながら「泣いて生きるも一生、笑って生きるも一生、私は笑って生きる」とホーム建設の指揮をとり、完成後はスタッフを教育し、入居者に寄り添う清さん。誰もが力をもらえる作品だ。

「SBCスペシャル 宇宙を夢見た高校生たち〜スペースバルーン・プロジェクトの1年」は長野県松本工業高校の3年生3人が「360度カメラをバルーンで成層圏まで飛ばし、地球の映像を撮る」という研究プロジェクトに取り組んだ記録だ。失敗を重ねながら前進していく高校生の姿がさわやかな感動を与える。

「ゴズミックフロント 流星群 星降る夜の謎」は、流星群の大出現を予測した国立天文台の研究チームが観測条件の良いアメリカに出かけて大出現を自ら確かめるドキュメンタリー。予測通りに出現するのか、ハラハラドキドキの要素と、流星群についての科学的な解説がバランスよく入った秀作だ。

特別奨励賞には小学校教諭が作成した理科授業の動画が選ばれた。コロナ禍のためオンライン学習が求められた中、授業の代わりになる動画を「あつまれどうぶつの森」を任天堂の許諾範囲で活用して自ら作った意欲が素晴らしい。

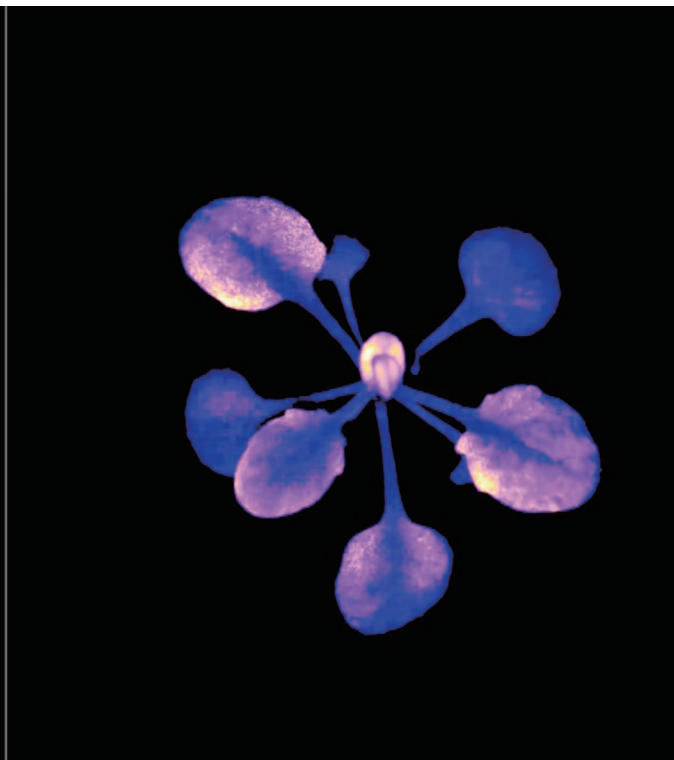
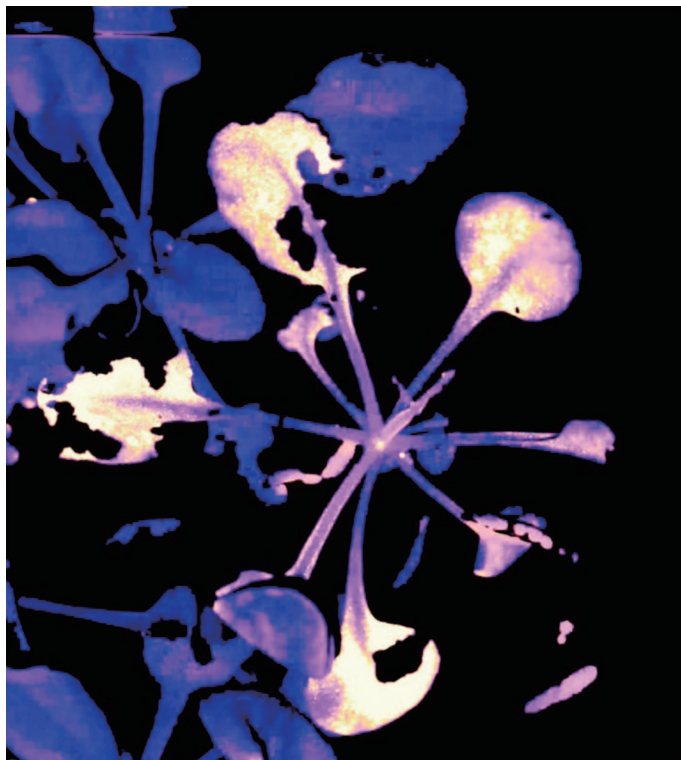
新技術振興渡辺記念会理事長賞を受賞した「ガリレオX サイボーグ昆虫 生物と機械を融合させる驚異の技術」は、SFに出てくるような技術が実用化目前の段階に来ていることを伝える。科学技術館館長賞となった「所さんの目がテン! 登山鉄道の科学」は楽しさの中で科学的理解が深められる作品。選には漏れたが、「SBCスペシャル 種をつむぐ」には日本の農業と暮らしのこれからを考えさせられた。

NHKスペシャル

超・進化論 第1集 植物からのメッセージ ～地球を彩る驚異の世界～

企画・製作：日本放送協会

語り：廣瀬智美／脚本：兵藤るり／技術：佐々木喜昭／撮影：小迫裕之、高橋紘介／音声：緒形慎一郎／照明：戎達生／美術：阿部浩太／演出：北村圭司郎
映像デザイン：倉田裕史／VFX：高畠和哉／CG：渡邊哲／音響効果：東谷尚／編集：荒川新太郎／取材：坂元志歩、藤原英史／ディレクター：白川裕之
制作統括：浅井健博



左の植物は、虫に食べられ防御反応を起こしている(黄色に光っている部分)。すぐ近くに生えている右の植物は虫に食べられていないが、植物同士がコミュニケーションし、防御反応を起こしている。 TV:49分

製作意図

生物の多様性、その本当の尊さに私たちは気づいているだろうか。“人間は最も進化した生き物だ”という思いこみを捨て、誰も体感したことのない新奇の映像と最先端のストーリーで、生き物たちの真の姿に迫る大型シリーズ。生き物たちは、弱肉強食のような競争関係だけでない、様々な深いつながりの中で驚異的な能力を進化させてきた。第1集では、植物の知られざる世界を、最先端のイメージング技術と特殊撮影で徹底的に可視化する。「大人しくて鈍感な生き物」というイメージを覆す全く新しい植物の姿を描き出す。

シノプシス

植物の“見えざる世界”に、最先端の科学と特殊撮影を駆使して徹底的に迫った。見えてきたのは、常識を覆す驚異的な能力の次々。番組は世界で初めて、植物が“おしゃべり”するようにコミュニケーションする様子を映像で捉えることに成功。森の地下で木々は巨大なネットワークでつながり、支え合っているという最新の事実も明らかに。植物はただ黙って、光や栄養分をめぐり周囲と競争しながら生きているだけではなかった。周りの植物や昆虫、微生物たちと複雑に関わり合う中で、驚くべき豊かな世界を築き上げていた。

受賞に際して

地球には、なぜかくも多様な生命が暮らしているのか。その生命の多様性の本当の尊さに、私たちは気づいているか。そんな大きな問いかけの元に制作したのが、本シリーズでした。企画のきっかけの一つが、植物がまるで“おしゃべり”するようにコミュニケーションしているという研究成果。生き物同士の複雑なつながり、生態系の見えないネットワークを私たちはほとんど理解できていないと改めて気づかされました。人間中心の見方を捨てて、見えざる世界に徹底的に迫ることで、生き物の知られざる豊かな世界の一端を描き出したいというのが制作チーム一同の思いです。科学はこの世界の理を解き明かすと同時に、この世界が分からないことで溢れていることを教えてください。生き物の未知なる世界に挑む研究者の方々と、そのワクワクするような新世界を描き出すことに力を尽くして取り組んでくださった制作スタッフの皆様に心から感謝を申し上げます。

(日本放送協会 チーフ・プロデューサー 白川裕之)

作品情報 <https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQQLPM3/episode/te/L2GGM47KWM/>

目撃者 f

消えないアラーム ～医療的ケア児 命つないだ先に～

企画・製作：株式会社福岡放送

ナレーション：中谷萌／構成：日笠昭彦／撮影：島本祥平、金鐘翔／MA：豊増泰之／音効：萩尾仰紀／EED：志村将次
美術：瀬戸口祐佳／編集：田中宏治／ディレクター：奥村三枝、鬼丸ゆりか／プロデューサー：富永大介



きったくんのケアをする母親 TV:48分

製作意図

24時間医療的ケアが必要な子ども「医療的ケア児」。取材はそんな言葉さえも知らなかった6年前に始まりました。最初は介護が家族だけに背負わされている現実を知ってもらいたい思いだけで取材を進めました。しかし、少しずつ日本の障害児支援制度の課題も浮かび上がってきたのです。「生きるとは何なのか?」「誰もが平等に教育を受ける権利とは?」それは、医療的ケア児に向き合うことで突きつけられた問いでもあります。社会が医療の進歩に追いついていない現実を広く知ってほしいと思います。

シノプシス

深夜3時、異常を知らせるアラームの音に起こされる榊田夫婦。わが子の呼吸器が外れた音です。榊田夫婦の長男・きったくん(6)は常にたんの吸引や経管栄養が必要な「医療的ケア児」です。一方、これまでの障害児支援制度の枠組みに当てはまらないのが「動ける医療的ケア児」です。久留米市の平尾悠輝くん(6)の願いは友達と同じ学校で学ぶこと。しかし、そこには安全を巡って大なる壁が立ちはだかります。医療の進歩によって増え続ける医療的ケア児。救われた命のその

先に一体何が待ち受けているのでしょうか。

受賞に際して

「なぜ、24時間医療的ケアが必要な子どもの介護が家族だけに背負わされているのか?」そんな小さな疑問から私たちの取材は始まりました。家族の小さな声を社会に届ける中で見えてきたのは、障害児支援制度や教育の問題など多岐にわたります。医療技術の進歩で、救える命が増え続ける一方、社会の受け皿が追いついていない現実が浮き彫りになってきたのです。「私たちが救った命が生きていて良かったと思える社会を作ってほしい」。医療的ケア児の存在は医療側から社会に対するメッセージだと思います。そのメッセージをどうすれば社会に問うことができるのか。制作スタッフ全員が一人一人の家族の姿を思いながら制作にあたりました。そして、取材した家族以上に苦しんでいる人たちがいることを知ってほしいと思います。今回このような栄誉ある賞をいただき、スタッフ一同勇気づけられる思いです。厚く御礼申し上げます。

(株式会社福岡放送 報道局 記者 鬼丸ゆりか)

作品情報 <https://www.fbs.co.jp/movie/f/znqdGI3hPxK>

ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モDESTA（バイオニック・ポップ・アーティスト）

製作：ウッドオフィス株式会社／企画・委託：株式会社WOWOW

ナビゲーター：仲里依紗／音楽：梁 邦彦／フォトグラファー：新田桂一／演出：白井景子
プロデューサー：宋 美恩、畑希亜良、林 鍾元／チーフプロデューサー：太田慎也



音楽家・渋谷慶一郎氏とアンドロイドとのセッション TV:51分

製作意図

2016年以来、世界最高峰のパラアスリートに迫ってきたWHO I AMシリーズがTOKYO2020の開催を経てリニューアル。アーティストやクリエイターなど、スポーツの枠を超えて多様な個性に迫る新シリーズ「WHO I AM LIFE」を立ち上げた。その第一弾としてバイオニック・ポップ・アーティストのヴィクトリア・モDESTAに密着。ファッション・アート・テクノロジーを組合せ、発信を続ける彼女の人生を通し、障がい者へのイメージを変え、多様性を認め合う未来社会へ貢献することを目指した。

シノプシス

アーティストやクリエイターなど、エンターテインメントの第一線で活躍する世界中の多様な個性に迫る大型シリーズの第一弾として、自身の義足をアートに変え、様々な発信を続けるヴィクトリア・モDESTA取材。2012年ロンドンパラリンピック閉会式でのパフォーマンスで注目を浴び、モデル、シンガー、クリエイティブディレクター、MITメディアラボ研究員などその活動は多岐にわたり、メタバースや宇宙事業にも情熱を注ぐ。障がい者の概念を覆し続けるバイオニック・ポップ・アーティストの、東京での

パフォーマンスも含めた2022年を追う。

受賞に際して

WHO I AMシリーズは、WOWOWとIPC（国際パラリンピック委員会）との共同プロジェクトとして2016年にスタートし、25ヵ国40組の世界最高峰のパラアスリートに迫ってきました。TOKYO2020を経て、シリーズが真にダイバーシティの尊重される社会に貢献するためには、これまでの知見を土台に、スポーツの枠を超えさらに多様なラインナップが揃う新シリーズを立ち上げたいと考えました。「みんなちがってみんないい。」そんなことが伝わればと思いシリーズを制作していますが、主人公である義足のアーティスト、ヴィクトリア・モDESTAさんは、誰よりも自分らしく輝きを放っていました。彼女の生き様が一人でも多くの方に伝わることを願います。この場をお借りし、ヴィクトリアさんはもちろん、ご協力いただいた皆さん、多くの制作スタッフなど、関係いただいたすべての方々にお礼申し上げます。

（株式会社WOWOW コンテンツ制作局制作部 プロデューサー 畑希亜良）

作品情報 <https://corporate.wowow.co.jp/whoiam/>

雅なクモ ジョロウグモの一生

企画・製作：難波由城雄写真事務所

製作：難波由城雄



ジョロウグモの産卵 映画・ビデオ:26分

製作意図

今から50年前、ジョロウグモの産卵から死までの10日間を偶然観察しました。その一部始終を見た時、言葉では言い表せない感動を覚えました。この感動が写真を撮るきっかけになりました。そして14年後に偕成社より「ジョロウグモ」として出版しました。その後、三名園「岡山後楽園」を撮影し、2012年オランダで3か月間個展を開催しました。次の撮影対象を何にするか考えた時、私の原点であるジョロウグモの一生を今度は映像で記録しようと決めました。そして、それが2022年12月に完成しました。

シノブシス

ジョロウグモの誕生から死までの様々な生態を詳しく観察し記録しました。5月下旬頃卵のうから子グモが出るのうします。2回目の脱皮後、子グモは糸を出し、風を利用して遠くへ移動しますが、子グモが小さく、又動きの予測もでき無い為ピン트가合わない、糸が映らない等の問題があり最も撮影に年数がかかったシーンです。クモの食事の仕方は消化液で獲物の体内を溶かしそれを吸い取ります。吸っている状態を見られる事がめったに無く撮影は困難でした。

クモ達の生きていく術の素晴らしさに何度も感動しながらの撮影でした。

受賞に際して

この度、第64回科学技術映像祭においてこのような栄えある賞を頂くことができ、大変有難く思っております。クモ、と言うと一般的にはあまり良いイメージを持たれていないようです。山道を歩いていて顔にかかるクモの網、台所の天井にへばりついている大きなクモ等、嫌われ者として扱われる事が多いです。しかし、クモの生態を詳しく知ると驚かされる事がたくさんあります。独特な食事の仕方や交接のために精子を触肢に蓄える妙技、そして産卵と死、その生き様に感動すら覚えます。自然に触れる機会が少なくなった子供たちが、この作品を通して小さな生き物たちがいかに一所懸命生きているか、興味を持ってくれると、とても嬉しく思います。編集等で助言を頂いた祝園芳宣氏、監修の藤崎憲治氏、又選曲、語りのやっちゃんに厚く御礼申し上げます。

(難波由城雄写真事務所 難波由城雄)

コケの一生 命きらめく足もとの森

製作：株式会社ドキュメンタリーチャンネル／企画：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

演出・撮影：藤原英史／監修：樋口正信、鵜沢美穂子、福田孝／ナレーター：川上まり／音響効果：高野寿子



ヒナノハイゴケの孢子囊 映画・ビデオ:18分

製作意図

文部科学省が定める中学校理科の学習指導要領において、「コケ」に関係する記述は「種子をつくらない植物については孢子をつくることに触れる」という一文のみである。生徒は、その内容を理科の教科書を使って学習することになるが、教科書にあるのは、たった一枚の図版と、数行の記述のみである。製作者らは、「コケという植物」を学ぶことの意義と大切さ、そして、その興味深さを「映像」でどのように表現し、生徒の学習を補足できるのか、20年近くかけて取り組み、挑戦してきた。本作品は、その集大成。

シノプシス

身近なコケが孢子をつくり、命をつなぐことを丁寧に解説する。コケの代表的な種を用いて、生育環境や体の特徴などを紹介。無性芽による増殖、雄株からの精子の放出、雌株の造卵器における受精の様子といった有性生殖のシーンなどは、マクロ撮影や顕微鏡撮影を活用した。数年を費やして定点撮影した孢子体の成長などの長期間のタイムラプス映像、変化に富んだ孢子の放出の様子など、いきいきとしたコケの一生を垣間見ること、理解を深め、さらに美しい世界に癒され、魅了されることだろう。

受賞に際して

コケは、どこにでもある身近な植物です。しかし、多くの人にとっては、普段は気にも留めない存在でしかなく、もし、気づいても、コケを「邪魔者」扱いをして、削り取ったり、除草剤をかけて枯らしてしまうことすらあります。一方で、静かな佇まいのコケの姿や、緑のモフモフ感に、癒しを求める愛好家もいます。最近では、コケリウムというコケをアートとして楽しむ人々も増えているようです。では、「科学」という面で、コケはどのように扱われているのでしょうか？残念ながら、学校教育の現場においては、「コケ」に関する学習の機会は減っています。小さく、成長が遅いコケは、学習教材としては、不向きと思われがちです。でも、もう少しだけ、視線を低くし、好奇心を持って、コケの世界を注意深く観察してみてください。そのきっかけとして、私たちの映像作品が役に立ったらうれしいです。この作品に力を分けてくださった関係者の皆様に、感謝申し上げます。

(株式会社ドキュメンタリーチャンネル ディレクター 藤原英史)

作品情報

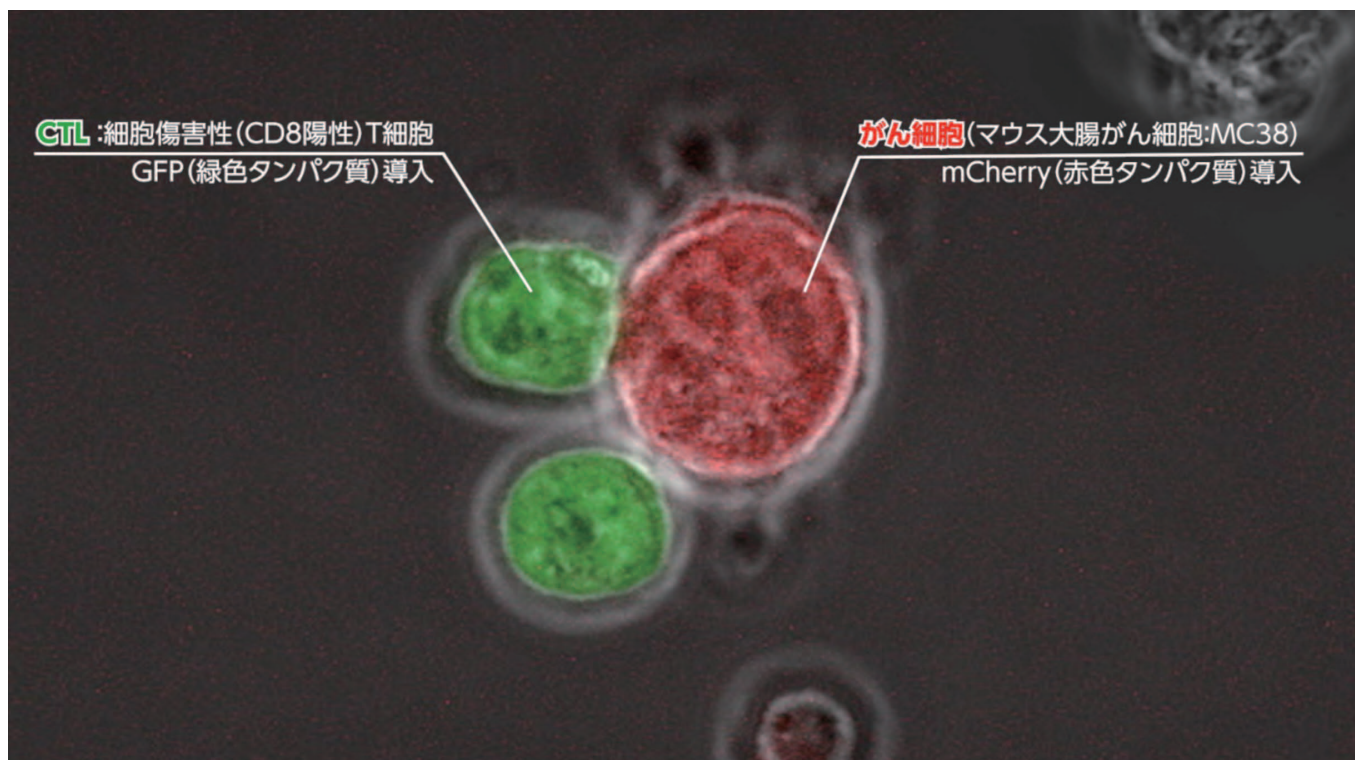
<https://documentary-ch.com/dvd/dvd-koke.html>

がん免疫を知る 「7STEP」・その先へ

製作：株式会社タイムラプスビジョン／企画・委託：中外製薬株式会社、株式会社インサイト・アイ

製作：西弘士、貞方久人／脚本：小澤英治／演出：上宮悠／撮影：橋本光弘、宮崎俊

研究者：貞方久人、富田勉、伊藤佐知子、藤巻加於梨



免疫細胞CTL（緑）によって攻撃されるがん細胞(赤)＜共焦点レーザー顕微鏡＞ インターネット等で配信されている動画:11分

製作意図

「がん」は、今や国民の2人に1人が罹患する身近な病気である。しかし、私たちは「ヒトがどうして『がん』になるのか?」について明確な答えを持っていない。本やインターネットでは「がん」についての多くの解説、イラストやCGがある。だが、実際に生きて動き回るがん細胞や免疫細胞の姿を目にすることは、医者や研究者でも多くない。こうした中、実際のがん細胞や免疫細胞の姿、振る舞いを映像化する名古屋大学との共同研究プロジェクトがスタートした。その成果の一つとして本映像を制作した。

シノプシス

私たちの体の中では、日々「がん細胞」が生まれている。一方で、私たちの体の中にはがん細胞を排除する仕組みとして「がん免疫サイクル」が備わっている。しかし、それでも人は「がん」になる。それは、どうしてなのか? この答えに近づくため、我々はがん免疫サイクルにおけるがん細胞と免疫細胞の振る舞いを、実際の細胞を用い顕微鏡映像で捉える研究プロジェクトを開始した。今回、免疫細胞(CTL)ががん細胞を攻撃するまでの一連のサイクルを捉えることが

できた。プロジェクトはがんが生き残る仕組みへと続く。

受賞に際して

映画「ジュラシックパーク」の中で『生命は必ず道を見つける』というセリフが出てきます。この作品を制作する過程で、「がん細胞」や「免疫細胞」の生きて動いている動態を顕微鏡で見つめながら、ふと思い出したのがこのセリフでした。「ジュラシックパーク」では「生命」は「恐竜」を指していますが、本作品では「がん」と「ヒト(免疫)」という二つの視座があります。それぞれが生存への道を見つけようとする「現場」を、私たちは顕微鏡を駆使して垣間見ようとしています。もっと先をもっと深く見たい。そして、この顕微鏡映像の醍醐味をより多くの人に知って欲しいという願望が、私たち制作スタッフのモチベーションとなっています。研究プロジェクトは始まったばかりで、本作品はこれまでの成果をまとめた第一報であり、プロローグです。その記念すべき第一歩に、このような賞をいただき、スタッフならびに関係者一同、心より御礼申し上げます。

(株式会社タイムラプスビジョン ディレクター 小澤英治)

作品情報 (近日公開)

これからの世界を生き抜くために 科学的に物事を考えるということ

企画・製作：株式会社 GENKI LABO

製作：市岡元気



消した直後に火を近づけると煙を伝って再び燃えるろうソク インターネット等で配信されている動画:30分

製作意図

イギリスの科学者マイケル・ファラデーが、約160年前に講演したクリスマス・レクチャーをまとめた書籍である『ろうソクの科学』を現代で再現し、子供たちが科学に興味を持つきっかけを作る。

シノプシス

ろうソクの炎による上昇気流の発生について、風車を使って実験し、解説する。ろうソクの芯の毛細管現象について、食塩と色水を使って実験し、解説する。ろうソクの蒸気について、ガラス管を使って実験し解説する。ろうソクの輝きについて、生成物を調べて解説する。ろうソクの炎から出る生成物に関して、水を電気分解し、水素と酸素を用いて解説する。ろうソクの炎から出る二酸化炭素について石灰水を用いて解説する。

受賞に際して

私達は沢山の方に科学技術やものづくりに興味を持ってもらい、日本の科学技術を向上させることを目的に3年前から800本以上の動画を作成してきました。毎年他の受賞者はTV制作会社や新聞社などが多い中、このような栄えある賞をいただき大変自信になりました。『ろうソクの科学』という本は、数多くのノーベル賞受賞者が科学に興味を持つきっかけになった本として、とても興味深いのですが、文章と少しの挿絵だけで実験風景が描かれており、現代の映像社会に慣れた子どもたちにとっては理解し難いものでした。それを実際に映像として再現し、目の前でサイエンスライブとして表現することで、科学の本当の面白さを引き出したいという思いで製作しました。これをきっかけに沢山の子ども達が科学に興味を持ち、日本の将来を支えてくださることを望みます。

(株式会社GENKI LABO 市岡元気)

作品情報 <https://youtube.com/watch?v=NI4TUCyTatc&feature=shares>

日本のチカラ 笑って生きる一生 ～ ALS患者がつくる夢のグループホーム～

製作：静岡放送株式会社／企画・委託：公益財団法人 民間放送教育協会

製作：田中秀典、雪竹弘一／演出：植田麻瑚／撮影：渡邊佳



笑って生きる一生を選んだ清さん TV:26分

製作意図

「私はまだやるべきことがあって生かされている」辛い病と闘っているにも関わらず、彼女を見ていると、笑顔になり勇気が湧いてくる。彼女の根源にある思いとは何なのか。人が「生きる」こと、「生きたい」と思える社会とは何なのかを問いたいと思い製作した。また、今悩み苦しんでいる患者やその家族に、清さんを始めとする登場人物の姿を見て、笑って生きる一生を選んでほしい。難病患者や障がい者への理解が深まり、「生きたい」と思える社会になることを願う。

シノプシス

静岡県富士宮市に住む、清しお子さん。難病・ALSの患者だ。病状が進行すると人工呼吸器をつける選択を迫られるが「家族に迷惑をかけたくない」と、約8割の患者がつけられない選択をする。清さんはつける選択をしたが、24時間体制で医療的ケアを行う施設は非常に少ないという現実を知る。そこで「自分でつくろう」と決意。グループホーム「ケアサポート志保」を完成させた。「いずれ自分も重症患者になるかもしれない」清さんはそう思いながらも「逝き方」ではなく「生き方」を考える患者が増えることを願っている。

受賞に際して

私の祖父は、清さんと同じALSを患っていました。高齢であったことから、気管切開はせず、発症から5年ほどで亡くなりました。祖父が生きているとき、もし清さんのグループホームがあり、清さんのような人が近くにいてくれたら、祖父は「生きたい」と思ったのだろうか、取材をしていて考えるときがあります。2019年、京都府でALS患者の囑託殺人事件がありました。操り人形のように毎日介護される状況に耐えられず、女性患者は安楽死を望みました。清さんは「生き方」ではなく、「逝き方」を探してしまう人を減らしたいという思いで、グループホームを立ち上げました。「医療的ケアが必要でも、手助けがあれば前を向いて笑顔で暮らしていける」この番組が、患者や家族をはじめ、すべての人にとって「生きる」ということを見つめ直すきっかけになればと思います。この度はこのような栄えある賞をいただき、厚く御礼申し上げます。

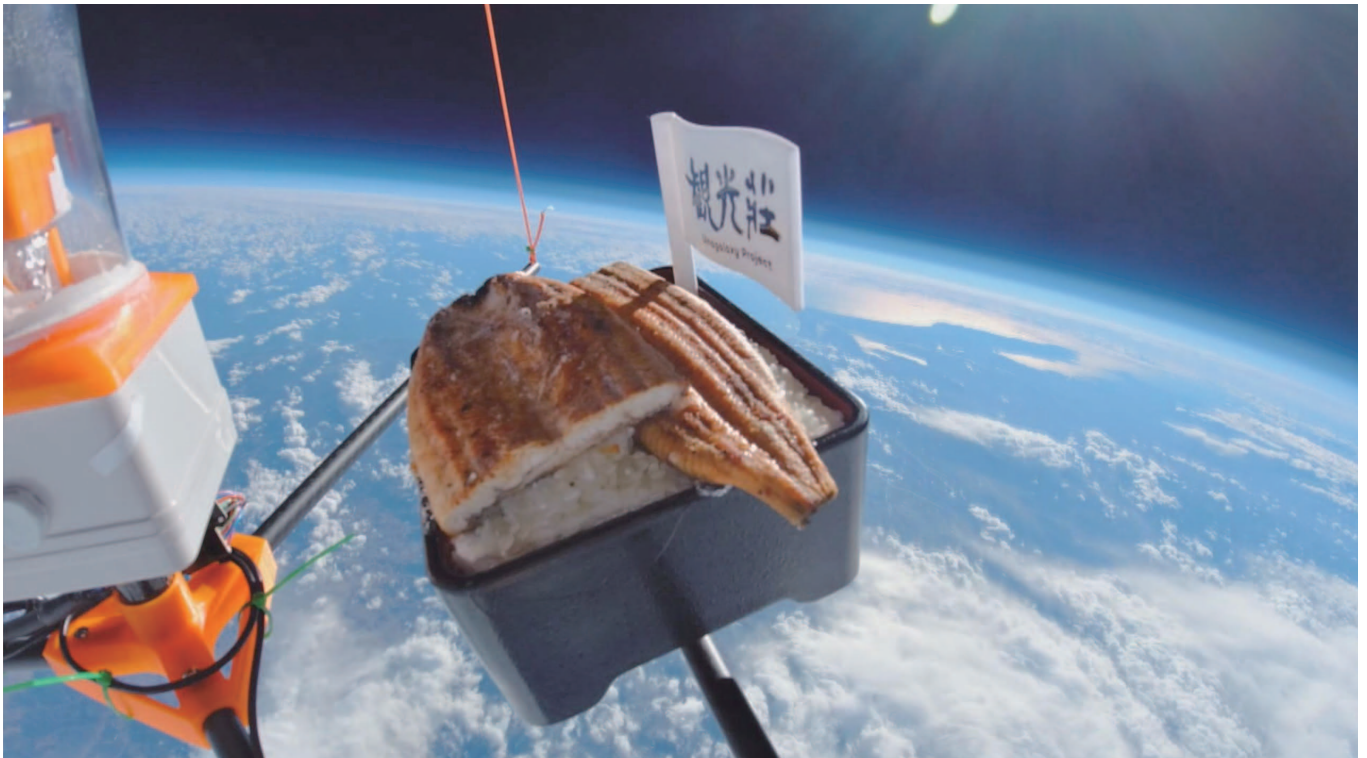
(静岡放送株式会社 ディレクター 植田麻瑚)

作品情報 https://www.minkyo.or.jp/program/nippon_no_chikara/302/

SBCスペシャル 宇宙を夢見た高校生たち ～スペースバルーン・プロジェクトの1年～

企画・製作：信越放送株式会社

製作：手塚孝典／演出：宮川伊都子／撮影：丸山清寿



成層圏に到達したうなぎと360度カメラを搭載したペイロード TV:50分

製作意図

日本のものづくりの未来を担う人材を育成する長野県松本工業高校。3年生になると、自分達でテーマを決め追究する「課題研究授業」が組み込まれる。テーマは自由という中、電子工業科の3人が挑んだのは、宇宙旅行への夢。コロナ禍で、修学旅行や学校祭など通常の学生生活が送れない中、気分だけでも宇宙旅行を楽しむにはどうすればいいのか。夢に向かって研究がスタートする。学校関係者以外の協力も取り付け、試行錯誤しながら宇宙に挑んだ高校生達の姿を追った。

シノプシス

宇宙を夢見る3人の高校生が、コロナ禍の最終学年、研究テーマに掲げたのが、360度カメラを成層圏に飛ばし、映像をVRにしてプチ宇宙旅行体験を楽しもうというもの。協力を申し出たのが地元うなぎ店のご主人。条件は、うなぎの蒲焼きと一緒に飛ばすこと。360度カメラの1回の撮影時間は最大25分。しかし、成層圏への往復には2時間以上かかる。しかも、カメラのスイッチを遠隔操作できる機能は本体になし。撮影し続けるための仕組み作りが始まった。果たして、カメラと蒲焼きは成層圏に飛んだのか？

受賞に際して

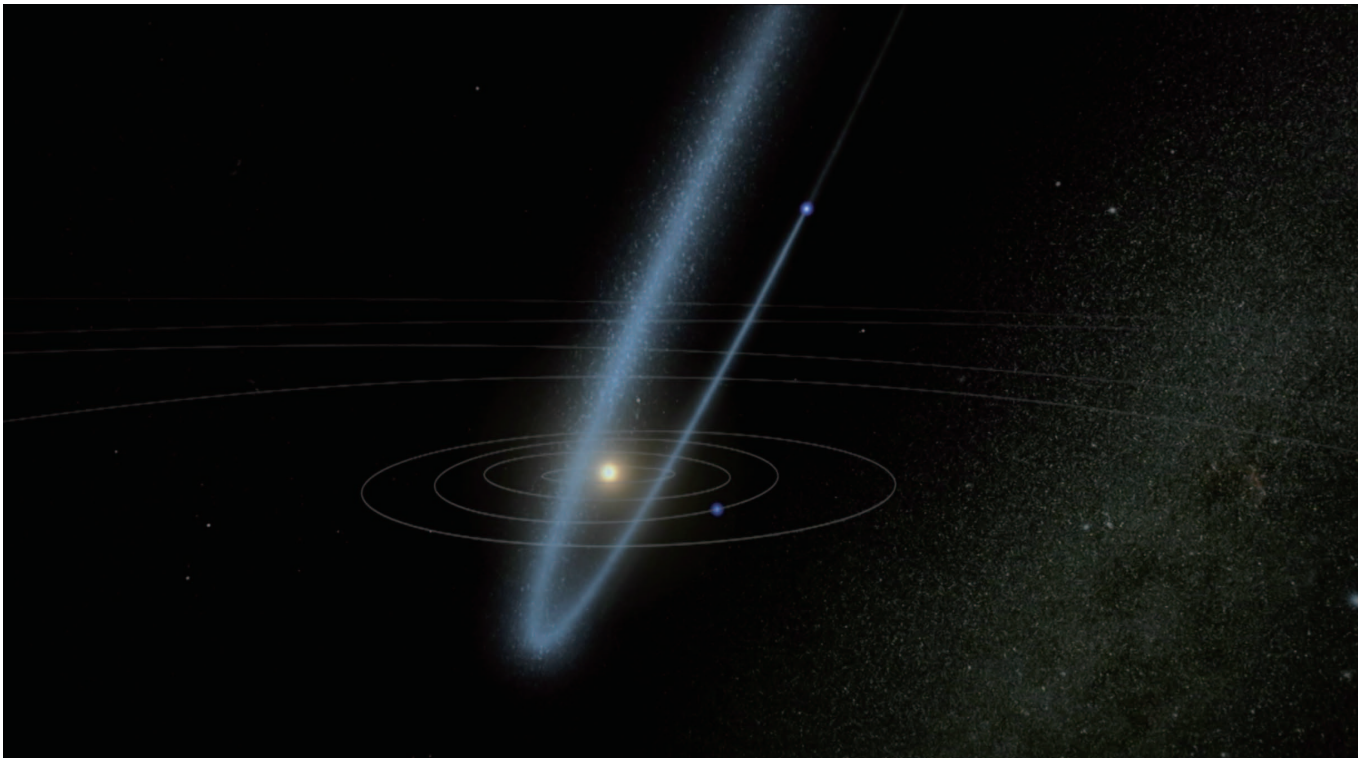
受賞にしまして、関係の皆様には厚く御礼申し上げます。「360度カメラを成層圏に飛ばして地球の姿を見たい！」高校卒業の研究テーマとしては壮大で面白いものの、指導教諭もどうしていいかわからず、最初は止めたと言います。そんな中、高校生達は自ら、過去の事例などを調べ、協力してくれるネットワークにコンタクトを取り、実現の可能性を探るなど、「宇宙への夢」を諦めませんでした。そんな高校生達の姿に、いつしか大人達が本気で協力するようになります。しかし、問題は次々起こり、カメラを打ち上げる直前まで調整が続きました。結果、高校生達が思い描いた映像は撮れず、卒業を迎えます。そして最後の取材…高校生達はさらに壮大な「宇宙への夢」を語り、諦めない姿を見せてくれました。今後も、宇宙を始め、科学技術の未来を担う子ども達がチャレンジする姿を、番組制作を通して応援し、情報を発信できるよう努力してまいります。（信越放送株式会社 制作部次長 ディレクター 宮川伊都子）

作品情報 <https://sbc21.co.jp/blogwp/special/broadcast/4883>

コズミック フロント 流星群 星降る夜の謎

製作：NHKエデュケーショナル／企画・委託：日本放送協会

制作統括：大野俊之、筒井芳典、大坪太郎、勝間田智之／ディレクター：井上元／取材：番地章、平岡純
撮影：竹本宗一郎、花山陽子／音声：鷹馬正裕／編集：桑原仁志／音響効果：小堀博孝／映像技術：太田智之
研究者：渡部潤一、佐藤幹哉ほか



流星群を作り出すチリの帯・ダストトレイル TV:59分

製作意図

2022年5月31日に前例のない流星群が出現することを、国立天文台の研究チームが予測した。彗星の核が崩壊し、宇宙空間に放出された大量のチリの軌道が、その日に地球の軌道と交差することを突き止めたのだ。1時間に100個の流星が飛ぶという国内研究者の見立てに反して、海外の研究者は出現に懐疑的だった。果たして予測は正しいのか、自らの目で確認しようとアメリカへ向かった研究チームに番組は同行、研究者とともに科学の最前線に立ち会う。

シノプシス

国立天文台の渡部潤一さんらの研究チームが、独自のシミュレーションを元に予測した2022年5月31日の流星群の出現。観測に向かったアメリカでは悪天候に阻まれ、観測地を転々とするハプニングも。撮影隊は二手に分かれ、高感度カメラを用いてその瞬間を待った。そして迎えた当日、カメラが捉えたのは、計算通りに出現した流星群と、ゆっくりと流れる予想外の「赤い流星」だった。一般の人にも馴染みのある流星群の最新研究を、特殊機材を用いて記録したドキュメンタリー。

受賞に際して

この度は大変栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この番組の企画は、国立天文台の渡部潤一さんから「ちょっと面白い流星群があるんだけど。」と耳にしたのが始まりでした。観測適地はアメリカ本土。前例のないタイプの流星群で大量の流星が飛ぶ可能性がある一方で、海外の研究者からはほとんど飛ばないという試算もあり、大きな「空振り」になるリスクもありました。しかし、結果が分からないものに挑むこそ科学の営みであり、それを間近で記録できる絶好の機会だと思い、アメリカロケを決行しました。ところがクルーが現地に着くと天気は大荒れ、急遽、晴れている所まで転戦することに。そして迎えた当日。現地から朗報が入り、肩の荷が下りました。撮影された映像には、次々と飛ぶ流星が鮮明に映っていました。研究者とともに追いかけた未知の流星群の面白さが伝われば幸いです。

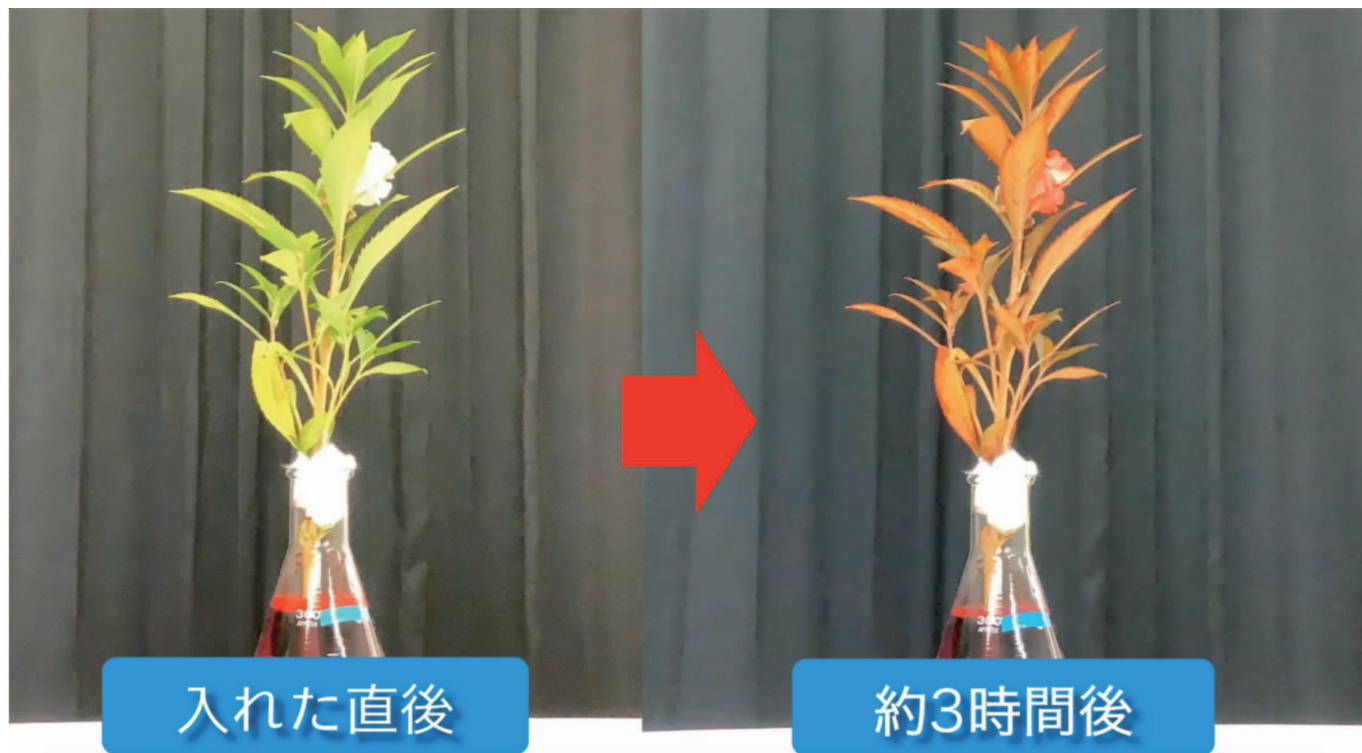
(NHKエデュケーショナル シニアプロデューサー 筒井芳典)

作品情報 <https://www.nhk.jp/p/cosmic/ts/WXVJVPGLNZ/episode/te/PM2NG8256L/>

matsumoo の YouTube 小学校 理科
小6理科 植物の成長と水の関わり 1 水の通り道

企画・製作：matsumoo の YouTube 小学校

製作：松本寛生



植物染色液によるホウセンカの色の変化 インターネット等で配信されている動画:10分

製作意図

新型コロナウイルス感染症が拡大して休校措置が取られ、オンライン学習が求められる社会情勢となった。WEB上には知識伝達型の動画は多く存在するが、小学校の学習の流れに沿った教科書準拠型の授業動画が殆ど存在しないことから、担当している理科授業の動画作成を始めた。人気ゲームをネットワークサービスにおける任天堂の著作物の利用に関するガイドライン上で活用し、子どもが興味関心をもつ授業動画を目指している。ノートを取ることも前提とし、現在も授業や復習、欠席・不登校児童の補習等で活用している。

シノプシス

しおれた植物に水をあげたときの様子について話し合い、差異点や共通点を基に「根からとり入れた水は、植物の体のどこを通過して、体全体にいきわたるのだろうか。」という問題を見いだす。予想や仮説から問題解決の方法を発想し、今回の実験方法を知る。実験結果を記録・考察し、「根からとり入れた水は、根やくき、葉などにある水の通り道を通して運ばれ、植物の体のすみずみまでいきわたる。」という結論

を得る。(大日本図書の小学校理科の教科書「たのしい理科」の学習の流れを基に作成)

受賞に際して

今回このような賞をいただけて大変光栄です。私は約6年前に JICA 派遣の青年海外協力隊として、中米グアテマラで算数指導の支援を行っていました。そこには、教科書の内容に沿わずに間違った内容を教えているような、深刻な学力・指導力不足の現状があり、抜本的な改革が必要でした。そこで取り組んだ活動の1つが映像授業で、今回の動画の原型となります。帰国後は日々の学校業務に追われてしまいましたが、新型コロナウイルス流行による休校タイミングで一般的な授業動画作成を始めました。休校明け、久しぶりに会った子ども達が夢中になっていたのが「あつまれどうぶつの森」でした。ゲーム内では教室を再現できるアイテムも揃っていたので、授業動画に使えるのではないかと考え、現在に至っています。忙しさにかまけて動画作りが滞ることが増えてしまいましたが、今回の受賞を励みにして、将来世界の教育に貢献できるような発信を続けていきたいです。

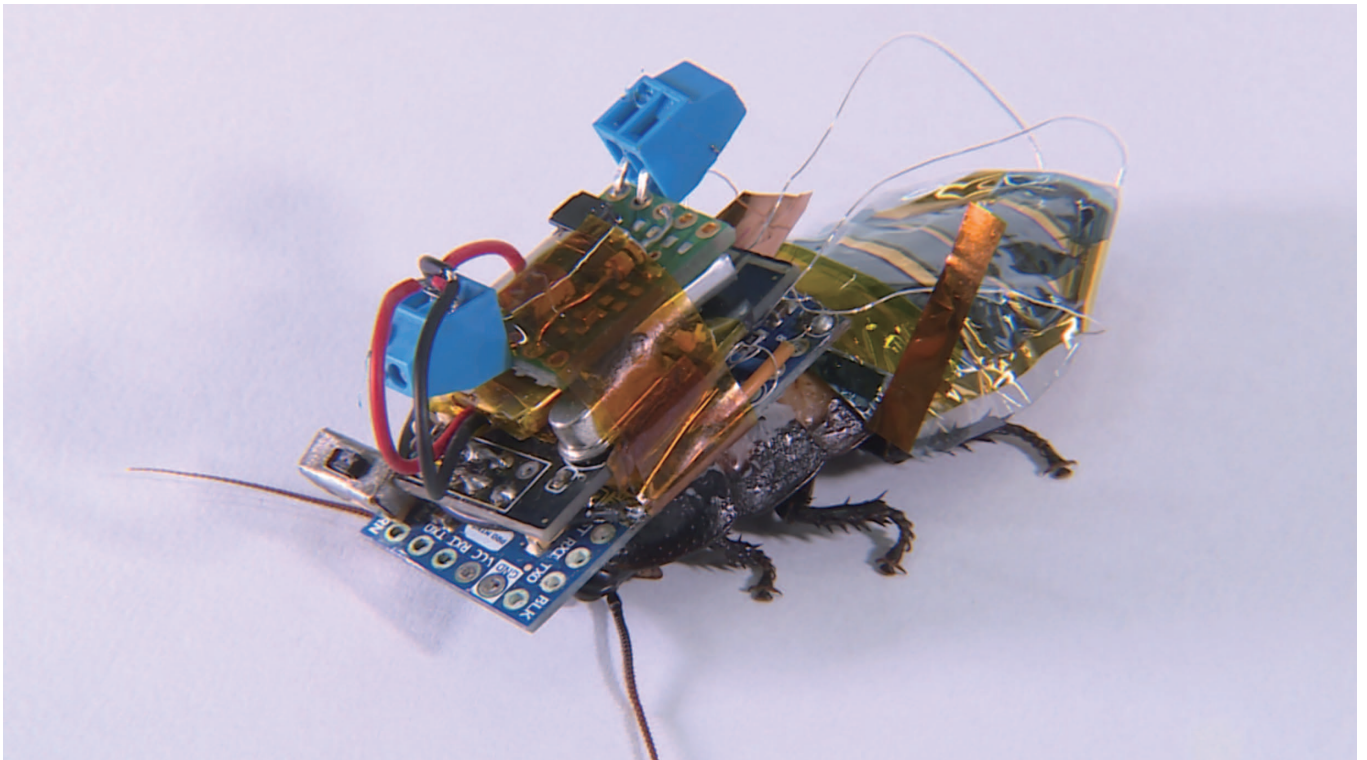
(東京都小学校教諭 松本寛生)

作品情報 <https://youtu.be/DRH7ymGZ-nc>

ガリレオ X サイボーグ昆虫 生物と機械を融合させる驚異の技術

企画・製作：ワック株式会社

製作：太田洋昭／脚本：北村太郎／演出：ディレクター 北村太郎、AD 新井匠／撮影：本間秀幸
研究者：神崎亮平(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)、
佐藤裕崇(シンガポール南洋理工大学 教授)、福田憲二郎(理化学研究所 専任研究員)



マダガスカルゴキブリのサイボーグ昆虫(人命救助用) TV:26分

製作意図

昆虫は、進化の中で獲得してきた優れた能力を持っている。その優れた能力を探り、活用するために1990年代に日本で始まったのがサイボーグ昆虫研究だった。今、そんなサイボーグ昆虫が実用化されつつある。昆虫に電子機器を搭載し、まるでラジコンのように昆虫の飛行や歩行を制御することが可能となったのだ。開発の目的は災害時の人命救助。瓦礫の中から生存者を探し出す最新技術として期待されているという。サイボーグ昆虫研究はどのように誕生し、何を実現するのか？これまでにない最新科学研究を取材した。

シノプシス

生物と機械の結合「サイボーグ」。その言葉からイメージされるのは、漫画やSF映画に登場する人造人間ではないだろうか。しかしそんなイメージとは別に、いま昆虫と機械を結合させた「サイボーグ昆虫」が実用化されつつあった。ゴキブリに電子機器を搭載したサイボーグ昆虫は、無線通信を可能とし、災害現場での活躍が期待されている。一方で、カイコガの触覚とドローンを融合させた匂い探索ロボット

の開発も進んでいる。驚くべきバイオハイブリット技術の実現に向けた研究に迫る。

受賞に際して

今回登場するゴキブリの仲間は、ある意味多くの人々にとっては嫌われ者です。番組の目的は、実はそんな昆虫が人間には無い優れた能力を持っていること。そしてその能力を人命救助のために役立てることができるかもしれないという新たな可能性を示すことでした。「遊びでやっているのではなくて、本当に真剣にこの技術を開発して、行方不明者死傷者を0にしたい。」という研究者の言葉のように、サイボーグ昆虫の実現を目指す科学者たちは真剣に、そして熱意を持って開発に取り組んでいます。そのような科学者たちの姿勢を皆様にも実感していただけると幸いです。このような栄誉ある賞をいただき、取材にご協力いただいた方々や関係の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

(ワック株式会社 ディレクター 北村太郎)

作品情報 <https://www.web-wac.co.jp/program/galileo/サイボーグ昆虫>

所さんの目がテン！ 登山鉄道の科学

企画・製作：日本テレビ放送網株式会社／制作協力：CNインターボイス

製作：似鳥利行／演出：勝河泰知／構成：吉嶋亮



アプト式機関車の床下にある歯車の仕組みを調査する藤田大介アナウンサー TV:30分

製作意図

我々の生活に欠かせない交通手段、「鉄道」にどのような技術が使われているのか、科学の目線から分かりやすく紹介する「鉄道シリーズ」。当該回は、鉄道にとって天敵ともいえる勾配を克服する「登山鉄道」に使われる技術に迫る。普通鉄道において、法令上最急勾配とされているのが35%、角度にしてわずか2度程度。しかし、箱根登山鉄道は80%を、大井川鉄道井川線は90%の勾配区間を登ってみせる。両者はいかにして勾配を克服したのか、鉄道マンたちによる知恵と工夫を明らかにする。

シノプシス

鉄道車両の車輪は、固い鉄でできているため、変形しづらく、比較的少ないエネルギーで車両を動かすことができる。その一方で、レールと車輪の間に物が挟まった時に影響を受けやすいという特徴がある。登山鉄道と呼ばれる鉄道は、そのような弱点を克服するための機能を備えている。傾斜80%の勾配区間を登る「箱根登山鉄道」、そして90%の勾配区間を登る「大井川鉄道井川線」に備えられている技術に迫り、安全に乗客を届ける鉄道に秘められた鉄道

マンたちの工夫を紹介する。

受賞に際して

この度は映像祭の栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。並びに、取材にご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。日本は、山や河川が多く、平らな場所に真っすぐ線路を敷くことは非常に困難なことです。それでも、日本の隅々まで鉄道網を張り巡らせようと、先人の鉄道マンたちは知恵を出し合い、工夫を重ねて、それを実現してきました。この放送でも、ただ出力を上げるだけではない、箱根登山鉄道や大井川鉄道井川線に備えられた工夫に、我々も取材を進めながら驚き、感心させられました。ここ最近、多くのローカル鉄道が赤字により廃止になるというニュースを目にすることが増えています。当たり前のように生活に溶け込んでいる鉄道に、人や物資を迅速かつ安全に届けるためのたゆまぬ努力が込められていることを知っていただき、多くの皆様に鉄道に対する興味を抱いていただくことができれば大変うれしく思います。

(日本テレビ放送網株式会社 コンテンツ制作局 プロデューサー 似鳥利行)

作品情報 <https://www.ntv.co.jp/megaten/oa/20220313.html>

第64回 科学技術映像祭参加作品一覧

No.	種別	作品名	分数	製作機関(企画製作機関)	企画・委託機関
自然・くらし部門 (14本)					
1	インターネット等で配信されている動画	世界一の化石が日本から出たらしい	23	ゆるふわ生物学	
2	映画ビデオ	コケの一生 命きらめく足もとの森	18	(株)ドキュメンタリーチャンネル	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
3	映画ビデオ	巨大地震 あなたの家は耐えられますか？耐震診断と耐震補強	18	(株)映学社	
4	映画ビデオ	「児童・生徒の自殺防止と SOS の出し方」教育シリーズ SOS が届いたら 相談にのれる心構え	19	(株)映学社	
5	映画ビデオ	巨大地震後 水は？電気は？一人ひとりの防災行動を考える	20	(株)映学社	
6	映画ビデオ	カムイ ヌイエ 神々を彫る 貝澤徹	43	北海道映像記録(株)	札幌大学アイヌ文化教育研究センター
7	映画ビデオ	アリの王国 未来の脳社会はアリを超えられるか？	54	(株)2dogs	
8	映画ビデオ	Dr. Bala コロナと戦争の現代、新しい生き方を探る人達に、Dr. Bala の12年間の旅路を送る。	82	TYO healthcare	Koby Pictures Inc.
9	TV	瀬戸内海から世界へ ～阿多田島海ごみ一掃作戦～	24	(株)中国放送	
10	TV	情熱大陸 岡田春生	30	(株)毎日放送	(株)サボラミ
11	TV	未来の子に聞いてみたい「ぼんすけはまだ生きているかい？」	45	(株)テレビ信州	(株)マウント
12	TV	目撃者 f 消えないアラーム ～医療的ケア児 命つないだ先に～	48	(株)福岡放送	
13	TV	NHK スペシャル 超・進化論 第1集 植物からのメッセージ ～地球を彩る驚異の世界～	49	日本放送協会	
14	TV	SBC スペシャル 種をつむぐ	50	信越放送(株)	
研究・技術開発部門 (16本)					
15	インターネット等で配信されている動画	知財インフォグラフィックス	3	(株)文化メディアワークス	(国研)日本原子力研究開発機構
16	インターネット等で配信されている動画	研究の日常は、非日常だ。	4	(国研)産業技術総合研究所	
17	インターネット等で配信されている動画	かがくチップス 地球の歴史をひもとく鍵 ～海底を埋めつくす巣穴たち～	11	(国研)産業技術総合研究所	
18	インターネット等で配信されている動画	Science Portal 動画ニュース 表皮水疱症 先端医学研究と患者たちの日々	5	(株)CN インターボイス	(国研)科学技術振興機構
19	インターネット等で配信されている動画	THE MAKING 第321回 再生タイヤができるまで	14	(株)日テレ アックスオン	(国研)科学技術振興機構
20	インターネット等で配信されている動画	ウインドハンタープロジェクト ～風力と水素を活用したゼロエミッション事業～	9	(株)電通ライブ	(株)商船三井
21	インターネット等で配信されている動画	ソーラー水素製造技術の開発	10	(株)日テレアックスオン	ARPCHEM (人工光合成化学プロセス技術研究組合)
22	インターネット等で配信されている動画	まてりある's eye 基礎研究の“真の価値”	10	(国研)物質・材料研究機構	
23	インターネット等で配信されている動画	がん免疫を知る 「7 STEP」・その先へ	11	(株)タイムラプスビジョン	中外製薬(株)、(株)インサイト・アイ
24	TV	ガリレオX メタヴァース 進展する先端技術	25	ワック(株)	
25	TV	ガリレオX ドローン研究最前線 空中を活用する新たな技術	25	ワック(株)	
26	TV	ガリレオX サイボーグ昆虫 生物と機械を融合させる驚異の技術	26	ワック(株)	
27	TV	ゲームゲノム 孤独と生命 ～ワンダと巨像／人喰いの大鷲トリコ～	29	日本放送協会	
28	TV	ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モデスタ(バイオニック・ポップ・アーティスト)	51	ウッドオフィス(株)	(株)WOWOW
29	TV	カズレーザーと学ぶ。 遺伝子スイッチで寿命200歳！？最新ガン治療驚異の治験結果	66	日本テレビ放送網(株)	
30	TV	エジソンの町工場	73	鹿児島テレビ放送(株)	

No.	種別	作品名	分数	製作機関(企画製作機関)	企画・委託機関
教育・教養部門(64本)					
31	展示映像 その他	NEW こけティッシュ コケワールド!	8	(株)ドキュメンタリーチャンネル	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
32	展示映像 その他	うつろいの色、紅	10	東京工芸大学	
33	インターネット等 で配信されて いる動画	マイクロプラスチックアクセサリー aid to 「かつて捨てられた君へ」	1	(株)JUNSEEP	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム
34	インターネット等 で配信されて いる動画	荒川ブラックスーツ団「拾って変える未来」	3	(株)JUNSEEP	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム
35	インターネット等 で配信されて いる動画	Science Portal 動画ニュース 地球の記憶 水月湖年稿 時間の「目盛り」が語る古気候と人類史	5	(株)CN インターボイス	(国研)科学技術振興機構
36	インターネット等 で配信されて いる動画	THE MAKING 第318回 ミルクレーブができるまで	14	(株)日テレアックスオン	(国研)科学技術振興機構
37	インターネット等 で配信されて いる動画	JST研究倫理教育映像教材 「倫理の空白」 理工学研究室編	66	テレビ朝日映像(株)	(国研)科学技術振興機構
38	インターネット等 で配信されて いる動画	研究者インタビュー 人もワクワク、 自然もワクワク	5	ACADEMIJAN	
39	インターネット等 で配信されて いる動画	研究者インタビュー 接ぎ木の革命家	7	ACADEMIJAN	
40	インターネット等 で配信されて いる動画	大人の自由研究 Y字振り子を作ってみた	6	ACADEMIJAN	
41	インターネット等 で配信されて いる動画	大人の自由研究 古生物を探せ!化石掘り体験	15	ACADEMIJAN	
42	インターネット等 で配信されて いる動画	歩こうジャン in 流山 〜クイズ流山王決定戦	37	ACADEMIJAN	
43	インターネット等 で配信されて いる動画	びわこのちからチャンネル 40万年前の琵琶 湖の森が分かる!?花粉の化石を調査!	6	(株)ベクトル	琵琶湖博物館
44	インターネット等 で配信されて いる動画	びわこのちからチャンネル 超危険!琵琶湖 を襲う外来種の正体とは!?	8	(株)ベクトル	琵琶湖博物館
45	インターネット等 で配信されて いる動画	びわこのちからチャンネル 世界初!?!の 完全再現!弥生土器でお米を炊く!?	9	(株)ベクトル	琵琶湖博物館
46	インターネット等 で配信されて いる動画	びわこのちからチャンネル 6万点もの魚類 標本が眠る!博物館の“裏側”に潜入!	11	(株)ベクトル	琵琶湖博物館
47	インターネット等 で配信されて いる動画	開け未来図	9	(株)日テレアックスオン	文部科学省 科学技術・学術政策研究所
48	インターネット等 で配信されて いる動画	初心者でもわかる!マイクロプラスチック研究 もっと細かいナノプラはどうやって測るの?	10	(国研)国立環境研究所	
49	インターネット等 で配信されて いる動画	matsumooのYouTube小学校 理科 小5理科 人のたんじょう 1 胎児の成長	10	matsumooのYouTube小学校	
50	インターネット等 で配信されて いる動画	matsumooのYouTube小学校 理科 小4理科 とじこめた空気や水 1 とじこめた空気	10	matsumooのYouTube小学校	
51	インターネット等 で配信されて いる動画	matsumooのYouTube小学校 理科 小6理科 植物の成長と水の関わり 1 水の通り道	10	matsumooのYouTube小学校	
52	インターネット等 で配信されて いる動画	matsumooのYouTube小学校 理科 小5理科 台風と防災 1 台風の接近と天気の変化	10	matsumooのYouTube小学校	
53	インターネット等 で配信されて いる動画	matsumooのYouTube小学校 理科 小5理科 電磁石の性質 1 コイルと電磁石	10	matsumooのYouTube小学校	
54	インターネット等 で配信されて いる動画	Amazon実物元素周期表は本物が元素分析し てみた結果...	11	(株)GENKI LABO	
55	インターネット等 で配信されて いる動画	20万円の金【王水】に溶かしました...また復活 させることはできますか?	11	(株)GENKI LABO	
56	インターネット等 で配信されて いる動画	火や水からどうやって電気作るの? 電気が足りないってなぜ?	21	(株)GENKI LABO	
57	インターネット等 で配信されて いる動画	包丁無かったので買わずに砂鉄から作ってみた	24	(株)GENKI LABO	
58	インターネット等 で配信されて いる動画	これからの世界を生き抜くために科学的に 物事を考えるということ	30	(株)GENKI LABO	
59	インターネット等 で配信されて いる動画	とつげき!ちぎゅうの研究室「らぶらボキゅ〜」ごみ 問題を科学する!?荒川でごみ拾い&調査してみた!	13	asym-line	
60	インターネット等 で配信されて いる動画	とつげき!ちぎゅうの研究室「らぶらボキゅ〜」地球の科学 がすごすぎた...サイエンスアゴラ2022に行ってきた!	14	asym-line	
61	インターネット等 で配信されて いる動画	とつげき!ちぎゅうの研究室「らぶらボキゅ〜」微生物多様 性!?!微生物と仲良く暮らす未来の社会を考えてみた!	29	asym-line	
62	インターネット等 で配信されて いる動画	エネルギー×水の循環 下水処理場	13	(株)放送映画製作所	電気事業連合会

No.	種別	作品名	分数	製作機関(企画製作機関)	企画・委託機関
教育・教養部門					
63	インターネット等で配信されている動画	9割が知らない雑学 宇宙人に「左」を説明してください。実はほとんどの人が左右を説明できないという事実	15	9割が知らない雑学	
64	インターネット等で配信されている動画	9割が知らない雑学 時間の正体	15	9割が知らない雑学	
65	インターネット等で配信されている動画	宇宙の広さと光の速度を実感する	16	午後正午	
66	インターネット等で配信されている動画	桜を科学する 桜の開花日予想してみた	18	(株)大阪教育研究所	
67	インターネット等で配信されている動画	どうぶつを科学する どうぶつ探し対決！ 歩いて探して解説！	18	(株)大阪教育研究所	
68	インターネット等で配信されている動画	スポーツを科学する 筋トレ、走りこみ、フォーム、球速が上がるトレーニングは？	21	(株)大阪教育研究所	
69	インターネット等で配信されている動画	記憶を科学する 一番効率のいい暗記法は〇〇だ！百人一首暗記してみた！	23	(株)大阪教育研究所	
70	インターネット等で配信されている動画	『地球の風と海流のひみつ』と『水の循環～流れる水のはたらき』	20	(株)ハッピーエンジン	東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター
71	インターネット等で配信されている動画	宇宙へのとびら エピソード1・2・3 (1:天の川のかたち、2:よその太陽に惑星をさがす、3:宇宙 暗黒物質の謎)	35	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台	
72	インターネット等で配信されている動画	ほのぼの物理キーワード辞典	40	(株)NHK エンタープライズ	東京大学トランススケール量子科学国際連携研究機構
73	映画ビデオ	私に見えている世界	12	SAGA SHORT FILM	
74	映画ビデオ	山田邦子の人生100年 気をつけて！ 高齢歩行者・自転車の事故	18	(株)映学社	
75	映画ビデオ	身近に潜む 土砂災害の危険 早めの予測 早めの避難	19	(株)映学社	
76	映画ビデオ	雅なクモ ジョロウグモの一生	26	難波由城雄写真事務所	
77	TV	ガリレオX THE POWER OF MUSCLES 筋肉に秘められた潜在能力	24	ワック(株)	
78	TV	ガリレオX 科学でワカラナイことを、どう考えるか 麻酔の謎・意識の謎・宇宙の謎	25	ワック(株)	
79	TV	日本のチカラ なんでもやる！ ～高知のエジソンのDNAを未来へ！～	26	(株)高知放送	(公財)民間放送教育協会
80	TV	日本のチカラ 生きがい ～障がい者支援の現場から～	26	(株)大分放送	(公財)民間放送教育協会
81	TV	日本のチカラ 被爆樹木の声を聴く ～広島の永遠のみどり～	26	(株)中国放送	(公財)民間放送教育協会
82	TV	日本のチカラ 笑って生きる一生 ～ALS患者がつくる夢のグループホーム～	26	静岡放送(株)	(公財)民間放送教育協会
83	TV	日本のチカラ 海のごみを“宝物”に！ ～キラリ輝く男の未来～	26	名古屋テレビ放送(株)	(公財)民間放送教育協会
84	TV	news every. 命のリレー ～移植医療が行われるまで～	30	(株)テレビ信州	(株)マウント
85	TV	マサックのスーパー実験室	30	青森朝日放送(株)	日本原燃(株)
86	TV	所さんの目がテン！ かがくの里 夏の昆虫調査スペシャル	30	日本テレビ放送網(株)	
87	TV	所さんの目がテン！ 不思議な鉱物の科学	30	日本テレビ放送網(株)	
88	TV	所さんの目がテン！ 登山鉄道の科学	30	日本テレビ放送網(株)	
89	TV	バンドラの果実 ～科学犯罪捜査ファイル～ Season1 第1話 第2話	88	日本テレビ放送網(株)	
90	TV	サタケ第九ひろしま2022 みんなでつくる平和の歌	46	(株)中国放送	
91	TV	映像22 研究者法定に立つ 特許の対価を問う理由	50	(株)毎日放送	
92	TV	SBCスペシャル 宇宙を夢見た高校生たち ～スペースバルーン・プロジェクトの1年～	50	信越放送(株)	
93	TV	ハイスクールは水族館！！ ～第3土曜日のしあわせ～	54	南海放送(株)	
94	TV	コズミック フロント 流星群 星降る夜の謎	59	日本放送協会	

※インターネット等で配信されている動画は、科学技術映像祭HP (<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>) にリンクを掲載しますので是非ご覧ください。

第64回 科学技術映像祭 開催要綱

目 的

科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨することにより、科学技術への関心を喚起するとともにその普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的とする。

行 事

- (1)優秀作品の選定
- (2)入選作品の表彰(科学技術週間行事)
- (3)入選作品の発表

主 催

- (公財)日本科学技術振興財団
- (公社)映像文化製作者連盟
- (公財)つくば科学万博記念財団
- (一財)新技術振興渡辺記念会

運 営

- 第64回科学技術映像祭運営委員会
- (1)運営委員会は本行事に関するすべてのことを決定する。
- (2)運営委員会は委員7名をもって構成する。

後 援

- 文部科学省、日本放送協会、(一社)日本民間放送連盟
- (一社)日本新聞協会、(一財)日本視聴覚教育協会
- (一財)経済広報センター
- 国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学館連携協議会
- (公財)民間放送教育協会

募集期間

2022年12月1日(木)～2023年1月25日(水)(必着)

応募資格

日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関・教育機関および個人が製作した作品。日本に所在を持たない場合でも、作品が日本国内で公開(放送、上映または販売)された作品は参加できる。

募集要件

- (1)2022年1月1日から2023年1月25日までに完成した作品で本映像祭へ初出品であること。
- (2)参加作品の上映時間は原則として90分以内
また、短編の作品も参加を歓迎する。
- (3)一応募者からの総参加作品数は5本までとし、総上映時間は180分を限度とする。
- (4)メディア
a.映画・ビデオ b.TV番組 c.インターネット等で配信・配布されている動画(YouTubeなどのSNSやHP等) d.博物館やイベント等における展示映像
注1:ヘッドマウントディスプレイ等特殊な機器を使わないと再生できないVRコンテンツ等は対象外とする。
注2:メディアについて応募に該当するかわからない場合は事務局に問い合わせること。

募集対象・部門

参加作品は、広く科学技術に関する映像とし、次のいずれかの部門に応募するものとする。

- (1)自然・くらし部門
 - a.自然、環境、生物生態記録
 - b.くらしの脅威(たとえば、防災、安全などに関するもの)や疾病の治療・予防に関する作品で、研究・技術開発部門に該当しないもの
- (2)研究・技術開発部門
 - a.最新の科学技術・産業技術および研究開発などを中心に、その現状と将来などの応用面を紹介した作品(たとえば、エネルギー、IT、AI、ナノテクノロジー・材料、機械、バイオテクノロジー、環境、農林水産分野などに関するもの)
 - b.基礎医学、臨床医学、歯学、薬学、保健の研究を紹介した作品
 - c.基礎研究および学術研究を紹介した作品(科学者・技術者が研究を進める手段として製作した映像や研究業績発表のために用いた映像を含める)
- (3)教育・教養部門
 - a.主に小学生、中学生、高校生および社会一般を対象として製作された作品で、物理、化学、地学、生物、技術・家庭(ものづくり教育を含む)、STEAM教育*など科学教育に関係する作品
 - b.科学技術の教養に関する作品。たとえば、技術史、考古学、人類学、評伝などに関するものを含む
 - c.(1)(2)の各部門に該当しない作品
*Science, Technology, Engineering, Art(s), Mathematics等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育のことである。

賞

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 内閣総理大臣賞 | 1作品(最優秀作品)
賞状および副賞(カップ) |
| 文部科学大臣賞 | 3作品(部門各1作品)
賞状および副賞(楯) |
| 部門優秀賞 | 6作品 賞状 |
| つくば科学万博記念財団理事長賞 | 1作品 賞状および副賞(楯) |
| 新技術振興渡辺記念会理事長賞 | 1作品 賞状および副賞(楯) |
| 科学技術館館長賞 | 1作品 賞状および副賞(楯) |

特別奨励賞

科学技術映像に関する新たな取り組みや、科学技術映像の活用による社会への貢献が顕著な作品に対し、特別奨励賞を贈ることができる。

賞は企画者(含むスポンサー)および製作者それぞれに贈る。

審 査

(1)審査方針

本映像祭は科学技術の普及と向上並びに科学技術教養の向上を目的とするとともに、科学技術と社会との関わりがより一段と深まっている現在の状況を踏まえ、科学と社会をつなぐ、架け橋となる科学技術映像作品が求められていることに留意して審査を行う。

(2)審査基準

- a.科学技術と社会との関係
科学や技術についての考え方、役割、課題、最新成果の理解、社会との関係性について、メッセージ性や企画意図などを審査する。
- b.正確性とわかりやすさ
科学技術の知見が正確に伝えられているかを審査する。研究・技術開発については、学術研究の映像化の価値を考慮する。
- c.演出映像・新規性
全体の構成・演出、映像表現力(撮影・照明)および技術力(音響・CG・特殊技術)などを審査する。作品の科学技術としての新規性があり、企画力やオリジナリティを審査する。

(3)審査委員

運営委員会から委嘱された審査委員10名程度をもって審査委員会を構成する。
審査委員会には運営委員会より委嘱された委員長1名、副委員長2名以内を置く。

(4)審査の方法

- a.審査は二段階審査(一次審査および本審査)で行う。
 - b.審査は審査上映会で実施するが、必要に応じてオンライン審査を併用する。
 - c.審査方法の詳細は審査委員会で決定する。
- 審査期間 2023年2月
発 表 2023年3月中旬
プレスリリースおよび科学技術映像祭HP上で発表
表 彰 式 2023年4月21日(金) 科学技術館サイエンスホール
上 映 会 2023年4月～2024年3月
全国の科学館等にて受賞作品を上映

第64回科学技術映像祭参加申込方法

- (1)科学技術映像祭公式WEBサイト URL <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>よりWEB申込の上、プリントした申込書に捺印し、必要書類および作品とともに下記宛まで提出してください。WEB申込ができない場合は下記までご相談ください。

(2)出品作品の提出形態:

以下のいずれかの方法で提出してください。その他の形態で出品を希望される場合は事務局にご相談ください。
※申込の際にオンライン審査に同意いただいた方は、パソコンで再生できるMP4等のファイルをお送りください。

	出品形態	再生機器	備考
①	録画用DVDディスク、録画用Blu-rayディスク ※販売用ソフトを含む	家庭用再生機器 (DVDプレーヤー、Blu-rayプレーヤー)	
②	USBメモリ、SDカード等	パソコン	MP4等のファイル

(3)提出書類等

- 申込書 1通 ○出品作品
- パンフレット等の印刷物 3部(あれば)

出品作品は事務局より後日返却いたします。(送料:事務局負担)

(4)申込締切

2023年1月25日(水) 必着

<書類・作品提出先>

(公社)映像文化製作者連盟 「科学技術映像祭」係
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18藤和日本橋小網町ビル7F
TEL.03-3662-0236 FAX.03-3662-0238

注意事項

- (1)参加にあたっては、必要な著作権処理を行なっておください。万一、第三者から権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、参加者自らの責任と負担で対処するものとし、主催者は一切の責任を負いません。
- (2)外国語版を出品するときは、日本語のスク립トを添付してください。
- (3)参加作品はストーリーがある動画映像作品とします。TV放送用途などでCM等が入った作品については、CM等をカットして一続きとしてください。
- (4)科学技術映像祭の入選作品を広く活用する観点から、広報活動や全国の科学館等での入選作品発表上映会や、NHK等での放送に協力してください。受賞作品は、Webサイト、新聞報道等に掲載する広報資料用に作品の写真データの提供と発表上映会用にDVD、Blu-ray等のコピー、ファイル(MP4等)の提供をお願いします。

【科学技術映像祭 事務局】

(公財)日本科学技術振興財団 人財育成部
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号
TEL:03-3212-8487 FAX:03-3212-0014 E-mail:filmfest@jsf.or.jp

運営委員 ◎委員長

- ◎ 永 野 博 (公社)日本工学アカデミー 顧問
柿 田 恭 良 文部科学省科学技術・学術政策局 局長
若 林 光 次 (公財)日本科学技術振興財団 理事
善 方 隆 (公社)映像文化製作者連盟 会長
三 浦 啓 一 (公社)映像文化製作者連盟 事務局長
中 原 徹 (公財)つくば科学万博記念財団 理事長
佐 藤 征 夫 (一財)新技術振興渡辺記念会 専務理事

審査委員 ◎委員長 ○副委員長

- ◎ 小 出 重 幸 日本科学技術ジャーナリスト会議 理事
○ 丸 山 剛 司 元 中央大学 理工学部 特任教授
○ 高橋真理子 科学ジャーナリスト
石 上 友 章 横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学 准教授
岡 田 秀 則 独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ 主任研究員
越 智 小 枝 東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 教授
木 村 真 一 東京理科大学 理工学部 教授
杉 浦 淳 二 映像・展示プロデューサー
武 部 俊 一 日本科学技術ジャーナリスト会議 顧問
田 嶋 炎 一般社団法人日本民間放送連盟 特別主幹
多田多恵子 植物生態学者
長谷川高士 ブロードメディア株式会社
矢島ゆき子 NHKメディア総局解説委員室 解説委員

主催団体

公益財団法人日本科学技術振興財団

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 Tel.03(3212)8487 Fax.03(3212)0014

公益社団法人映像文化製作者連盟

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網ビル7階 Tel.03(3662)0236 Fax.03(3662)0238

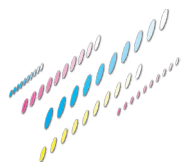
公益財団法人つくば科学万博記念財団

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2-9 つくばエキスポセンター Tel.029(858)1100 Fax.029(858)1107

一般財団法人新技術振興渡辺記念会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13浜松町NHビル5階 Tel.03(5733)3881 Fax.03(5733)3883

***64th SCIENCE AND TECHNOLOGY
FILM/VIDEO FESTIVAL***



<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>